

平成31年度(令和元年度) 南相馬市立原町第三中学校 学校経営・運営ビジョン

自主・寛容・挑戦 — 夢の実現 —

本校では「自主」「寛容」「挑戦」の教育目標を掲げ、「夢の実現」のために日々取り組む生徒の育成を目指して教育活動を続けております。また、震災後8年を経て保護者・地域の皆様の本校に寄せる大きな期待とご支援により、以前にも増して整備され充実した教育環境のもと生徒の朗らかな声が響く学校生活が展開されています。

平成31年度の学校経営・運営ビジョンを作成するにあたり教職員・生徒・保護者によるアンケートから、生徒に「強い意志」「表現力」「夢への努力」に加え、「理論的に考え判断する力」を身に付けさせたいと考えました。そこで、今年度は「自らよく考え、やりぬく生徒」を重点目標とし、生徒一人一人の「夢の実現」のために、自己課題や目標を明らかにし、自分でよく考え、判断して、実践することができる生徒を、全教育活動を通して育成していきます。また、地域資源を活用したり体験活動を取り入れたりしながら南相馬ふるさと教育を推進し、生徒に郷土に対する誇りや愛情を持たせたいと考えていきます。そのために、PDCAのサイクルを機能させ、保護者や地域の教育力を最大限に活用し、教職員が一致団結して教育活動を展開してまいります。

南相馬市立原町第三中学校長 鈴木 太

【目指す生徒の姿】

- 自己の課題や到達目標を明確にし、自ら進んで学習に取り組むことができる。
- 和やかな雰囲気の中で相手を思いやり、品位ある言動をとることができる。
- 夢や目標を持ち、実現に向けて挑戦・努力する。

教育目標

- ◎ 自ら進んで学ぶ生徒 (自主)
- ◎ 明朗で思いやりのある生徒 (寛容)
- ◎ 健康でたくましい生徒 (挑戦)

重点目標

『自らよく考え、やり抜く生徒』

＜学校経営の基本＞

1. 子どもの成長を第一とする学校
2. 子ども、保護者、地域、教職員の信頼と連携を強くする学校
3. 教職員も成長する学校

＝プロの教師としての姿＝

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 高邁な教育的理想 | 『理想』 |
| 2. 意欲的な研修、読書 | 『研修』 |
| 3. 質の高い授業実践 | 『実践』 |
| 4. 一社会人としてのモラルの向上 | 『倫理』 |

具体的な実践事項

確かな学力を身につけさせます

＜分かる授業、できる授業の実践＞

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をし、確かな学力を身に付けさせます。
 - ・ 授業スタンダード、南相馬の授業スタイルの活用
 - ・ 書く活動、ペアやグループ等の学習形態、振り返り等の言語活動の充実
 - ・ 基礎学力向上のためのパワーアップテストの実施
 - ・ ICTを活用した授業
 - ・ 少人数を生かした指導 (TTによる個別指導)
 - ・ 活用力育成シートや定着確認シートの活用

＜学習習慣の確立＞

- 学習における自己マネジメント力を育てます。
 - ・ 家庭学習の手引きの見直しと家庭との連携
 - ・ 定期テスト等に向けた学習計画の指導

＜読書指導の充実＞

- 読書をしたり新聞を読んだりする生徒を育てます。
 - ・ 毎朝10分間の読書タイムの実施
 - ・ 新聞タイムの設定 (パワーアップタイム)
 - ・ 図書室環境、学級文庫の整備

＜資格取得の奨励＞

- 各種検定試験に挑戦させ、資格取得を奨励します。
 - ・ 環境整備 (問題集、プリント)

豊かな人間性を育てます

＜道徳教育の充実＞

- 道徳教育を充実させ、思いやりの心や目標に向かってやり抜く態度を育てます。
 - ・ 考え、議論する道徳の授業の充実
 - ・ 体験活動や福祉活動の充実

＜故郷を愛する心を育む教育の推進＞

- ふるさと南相馬に対する誇りや愛情を持って成長できるように地域とかわり合う学習を推進します。
 - ・ 地域資源 (人材や資源) の活用
 - ・ 報徳仕法の活用

＜生徒指導の充実＞

- 自己肯定感や他者肯定感を育てる生徒指導に努めます。
 - ・ 人権教育や生徒会活動の充実
- いじめ・不登校の未然防止に努め、早期発見・迅速で丁寧な対応を行います。
 - ・ 定期的ないじめアンケート (生徒、保護者) の実施
 - ・ 相談体制の充実 (教育相談、SCとの連携、QU)

＜キャリア教育の推進＞

- 自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します。
 - ・ 専門高校生による小中体験応援事業
 - ・ 職場体験や介護体験の実施

健やかな心と体を育みます

＜体力の向上＞

- 目標をもって運動したり、自ら積極的に体を動かしたりする生徒を増やします。
 - ・ 体力や運動能力の実態を踏まえた体力向上推進計画の作成と実施
 - ・ 継続的な運動 (教科、部活動)

＜心身の健康の推進＞

- 心身の健康の大切さが分かり、自ら改善できるようにします。
 - ・ 養護教諭や外部講師による専門的な指導
 - ・ 自分手帳の活用

＜安全教育の充実＞

- 防災教育を推進し、災害に対して自ら判断して行動できる力を育成します。
 - ・ 避難訓練、防犯教室の実施
 - ・ 系統的な放射線教育の実施

実効性のある校務運営体制

- 校内組織の活性化
 - ・ 組織的な計画立案と全職員での共有化
- 危機管理と組織的な対応
 - ・ いじめ問題対策連絡協議会の定期的開催
- 関係機関との連携
 - ・ SC、SSWの連携
- 特別支援教育の充実
 - ・ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成

保護者・地域との連携

- 学校の情報の定期的な発信
 - ・ 各種便りの定期的発行 HPの毎日の更新
- 保護者・地域との連携
 - ・ 学校行事の公開、PTA活動の充実
 - ・ 地域の教育力の活用 (地域教材、外部講師)
 - ・ 学校評価の実施

教職員の資質向上

- 研修の充実
 - ・ 校内全体授業研究会の実施
- 不祥事絶無に向けての取り組み
 - ・ 服務倫理委員会の計画的な開催
 - ・ メンタルヘルスの充実 (適正勤務時間)
- 小・中連携
 - ・ 原三中ブロック授業研究会の実施

福島県教育庁相双教育事務所～相双アピール～

南相馬市教育委員会学校教育努力事項

第6次福島県総合教育計画

- 【基本理念】 “ふくしまの和”を奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり
- 【基本目標】
- 1 知・徳・体のバランスのとれた社会に貢献する自立した人間の育成
 - 2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
 - 3 豊かな教育環境の形成